

## ブンデスリーガ観戦記

私はこれまでにドイツでブンデスリーガを4試合観戦しました。非常に素晴らしく感慨深い経験になったので、この機会にみなさんに共有したいと思います。是非、最後まで読んでみてください！！

### ◆短期留学でベルリンへ



2016年2月、ドイツの首都ベルリンに短期語学留学で滞在していた私は、語学学校の授業がない週末にサッカーの試合を見に行くことにしました。ベルリンのサッカーチームと言えば、日本代表の原口元気選手が所属するヘルタ・ベルリンです。チケットはすでに日本で仲介業者から購入していたので、原口選手のユニフォームを買うためにファンショップに行きました。日本円にして1万円程度で購入したユニフォームをさっそくホストファミリーに披露すると、その家族の5歳になる息子が大興奮！彼はヘルタ・ベルリンではなくバイエルン・ミュンヘンの大ファンでしたが、サッカーが大好きなので週末は家族全員でサッカー観戦に行くことになりました。

### ◆ベルリン・オリンピックスタジアムでのゲーム

私のルームメイトはブラジルから来ている同い年の男の子で、ブラジルなのでサッカーが大好きであると思いきや、全く興味がないとのことでした。そんな彼も一緒に、次の土曜日、私たち一行は試合会場であるベルリン・オリンピックスタジアムへ車で行きました。開門2時間前に到着し、徐々に水色と黄色のユニフォームやグッズを身に着けた人で溢れかえりました。対戦相手は、日本代表・香川真司選手が所属するボルシア・ドルトムントです。初めて生で見るヘルタのサポーターとドルトムントのサポーターに感激し、入場列でドルトムントファンのおじさんと記念撮影しました。そんなこんなで時間をつぶし、ようやくスタジアム入場。

### ◆まずはカレーソーセージとビール

日本では考えられないほど厳しい身体検査をくぐりぬけ、まずは売店へ。ドイツと言えばサッカー・ビール・ソーセージというよくある考えしかなかった私は一目散に売店に並び食べ物を注文しました。すると、どうやら現金では買えないようで、Geldkarte (ゲルトカルテ) というプリペイド式のカードで支払う必要があるようでした。カードはスタジアム内に数人いる緑のジャンパーを着ているスタッフから買えるそうなので、すぐに見つけ買いました。ちなみにその Geldkarte



は現金をチャージし、不要になったら返却してカード残高とカードの頭金を返してもらえるという仕組みになっています。スタジアムによってデザインが異なるので、記念に持ち帰ることも可能です。

また、ベルリン名物のカレーソーセージとビールを頬張っていると、あることに気が付きました。ビールのカップが紙コップではないのです。しっかりとしたプラスチック製のコップにヘルタ・ベルリンのエンブレムや選手がデザインされていました。そのプラスチックのコップはデポジット制が採用されており、売店に返却するとデポジットが戻ってくるというものでした。カップのデザインは気に入り持ち帰りたかったのですが、スーツケースの中では邪魔になってしまうと思ったので断念、返却しデポジットを受け取りました。ものを大切に使うさすが環境大国ドイツだなあと感じました。



#### ◆試合は…

そうこうしているうちにウォーミングアップの時間になり、両チーム選手がピッチに出てきました。目当ての原口選手をすぐに発見し、香川選手はどこだ？と探しても探しても見当たりません。両チームメンバー発表時に、香川選手は今日メンバー外であることを確認しました。初めてのブンデスリーガ観戦で注目度の高い日本人対決が見られることを楽しみにしていましたので、本当に残念でした。が…。試合は両者一進一退の攻防が続いてゴール前のシーンも多く、とても見応えのある試合でしたが、結果は0-0の引き分けでした。スタジアムは74,244人の大観衆で埋め尽くされ、2位と3位の上位対決ということもあり、文字通り「最高の雰囲気」でした。ずっと行きたかったブンデスリーガの観戦ができ、夢のような時間でした。

#### ◆ドルトムントにミュンヘンも

翌週にはドルトムントまで足を運びドルトムントのホームゲームを観戦、そしてその翌週にはミュンヘンのアリアンツアレナでバイエルン・ミュンヘンのホームゲームを観戦。どれも素晴らしく、言葉で表すことができないくらい最高の経験でしたが、編集の関係で割愛させていただきます。

ドイツ語学科新入生のみなさん、サッカーに興味ある人はもちろん、そうではない人も必ず魅了されます。それがドイツのサッカーです！是非実際にドイツに行って試合観戦をしてもらいたいです！そのためにドイツ語の勉強、これから頑張っていきましょう！！  
(五味昇陽)